

## 市内小学校での空間放射線量測定結果

測定値  $\mu\text{Sv}/\text{h}$  単位

測定器 Mr.Gamma A2700 型(クリアパレス株式会社製)

|            | 今回 2023年3月6日(月)<br>くもりのち晴れ                    | 前回 2021年12月13日(月)<br>晴れ                       | 2011年10月12日(水)～<br>14日(金) 晴れ |
|------------|---|---|------------------------------|
|            | 測定高さ：地上より1m<br>(*は地上1cm)                      | 測定高さ：地上より1m<br>(*は地上1cm)                      | 測定高さ：地上より50cm<br>(*は地上1cm)   |
| 大山<br>小学校  | 校庭中央 0.01<br>体育館横側溝 0.02*<br>体育館近くの側溝 0.03*   | 校庭中央 0.02<br>体育館横側溝 0.03*<br>体育館近くの側溝 0.01*   | 0.04<br>0.03<br>なし           |
| 比々多<br>小学校 | 校庭中央 0.02<br>校庭近くの側溝 0.03*<br>第2校庭中央 0.02     | 校庭中央 0.02<br>校庭近くの側溝 0.03*<br>第2校庭中央 0.02     | 0.03<br>0.05*<br>なし          |
| 成瀬<br>小学校  | 校庭東側 0.02<br>校舎近くの側溝 0.02*<br>体育館裏の雨樋の下 0.06* | 校庭東側 0.02<br>校舎近くの側溝 0.03*<br>体育館裏の雨樋の下 0.06* | 0.02<br>0.09*<br>0.05*       |
| 伊勢原<br>小学校 | 校庭中央 0.02<br>体育館裏の雨樋の下 0.05*<br>体育館裏の側溝 0.03* | 校庭中央 0.02<br>体育館裏の雨樋の下 0.06*<br>体育館裏の側溝 0.04* | 0.03<br>0.07*<br>0.05        |
| 市役所<br>横   |   | 0.05  | なし                           |

2023年度：今回の測定値を2021年度と測定値を比較すると、ほとんどの地点で同一値か、より低い値となった。すべての値が国の目標値  $0.19\mu\text{Sv}/\text{h}$  や基準値  $0.23\mu\text{Sv}/\text{h}$  に対して1桁少ない値であった。

2021年度：10年前の2011年度と今回の測定値を比較すると、測定高さが異なっているが、すべての値が国の目標値  $0.19\mu\text{Sv}/\text{h}$  や基準値  $0.23\mu\text{Sv}/\text{h}$  に対して1桁少ない値であった。

今後1年毎位に継続してモニターしていきたい。

(目標値と基準値の考え方)

国際放射線防護委員会 (ICRP) では、一般大衆の線量限度を  $1\text{mSv}/\text{年}$  としている。1日のうち屋外滞在時間を8時間、屋内滞在時間を16時間とし、屋内における放射線の低減係数を0.4倍とすると、時間換算で限度値は  $0.19\mu\text{Sv}/\text{h}$  となる。

測定器で測定される放射線には、大地からの放射線 ( $0.04\mu\text{Sv}/\text{h}$ ) が含まれているので、測定器による測定値としては、 $0.23\mu\text{Sv}/\text{h}$  が基準値となる。

なお、ここでいう線量限度は、安全と危険の境界線ではなく、あくまで管理上の基準値として設けられているものである。